

地域社会の非行統制機能に関する調査研究

(財)社会安全研究財団委託調査研究報告書

平成 12 年3月

少年育成研究会

まえがき

昨今の深刻化する少年非行の背景として、地域社会における住民の連帯意識の低下が示唆されており、世論調査においても、「地域住民が他人の子供に無関心」と答える人々の割合が全国的に増えております。この「社会の無関心の広がり」は、従来、地域社会がもっていた非行統制機能の低下をもたらしていると考えられます。しかしながら、我が国では、地域社会の特性と少年非行との関連について、これまで実証的な検討が十分になされてきたとは言えません。そこで、我が国の地域社会における非行統制機能の現状と問題点を明らかにすることを目的として、本調査研究が企画されました。

本調査研究は、全国の各都道府県から、住民の連帯意識の高い地域と低い地域を選定して調査対象地域とし、各地域にある中学校に在学する生徒とその保護者を対象にして、地域社会の状況（健全育成活動への参加、地域の大人の青少年に対する働きかけ、地域の有害環境の状況等）と中学生の非行化との関連を調査いたしました。さらに、調査対象地域の関係機関担当者（警察と学校）を対象として、各地域の健全育成活動の状況等を調査し、少年非行の状況との関連を検討いたしました。全国の90以上の地域で、中学生約1万人と保護者約9千人を対象とした今回の調査研究は、我が国では過去に例をみない大規模な調査研究であり、妥当性の高い調査結果が得られたものと確信しております。

最後になりましたが、本調査研究を委託研究に採用し、多大のご援助を下さった（財）社会安全研究財団に対して衷心から御礼申し上げます。また、今回の調査研究の実施にあたってご協力いただきました中学校の先生方、保護者の方々、各都道府県の警察ならびに教育委員会の方々に心より御礼を申し上げます。そして、この度の調査報告書が、青少年の非行対策や健全育成に携わる多くの方々にとって、少しでもお役に立てば、私どもの喜びとするところであります。

平成12年3月

少年育成研究会

代表 星野周弘

目 次

第1章 調査研究の枠組み	1
1 調査研究の目的	1
2 調査研究の方法	1
3 研究会の構成	3
4 分析対象者の基本的属性	3
第2章 中学生調査の分析結果	9
1 地域との関わり、近所つきあい	9
2 地域の大人の働きかけ	10
3 地域の有害環境の状況	14
4 社会参加活動への参加状況等	15
5 まとめ	21
第3章 保護者調査の分析結果	23
1 地域との関わり、コミュニティ意識	23
2 地域の青少年問題と有害環境の認知	26
3 地域の大人の働きかけ	30
4 健全育成活動への参加状況等	34
5 まとめ	37
第4章 職員調査の分析結果	39
1 地域の青少年問題と有害環境の認知	39
2 健全育成活動の実施状況等	43
3 健全育成活動運営の現状と問題点	46
4 関係機関の連携状況等	50
5 まとめ	53
第5章 全体的まとめ	55
1 地域の有害環境の状況	55
2 地域の大人の働きかけ	55
3 健全育成活動の状況	56
調査票	59
付表	85